

次期ビジョン（案）の概要

2021.06.25 神戸大学・村上健治

1. 基本的な考え方（「解説」第2章）

○ビジョン2020（2016年6月策定）の考え方を引き継ぐ

- ・「大学図書館の本質的な役割の再確認」「言語化して共有」
- ・3つの重点領域，7つの目標

○ビジョン2020制定時（2016年6月）以降の環境変化への対応（「解説」第3章）

- ・「デジタル化」「国立大学に求められる機能の多様化」「国際的な動向」を基本理念の前に記載

○ビジョン2020達成に向けた活動の総括，ビジョン2020に対する評価の反映 （活動の総括）

- ・2018年11月照会結果「協会ビジョンに基づく各会員館の活動状況（中間まとめ）」
※2016.6-2018.12の会員館の活動
- ・2020年4月照会結果「国立大学図書館協会ビジョンに対する意見等について（照会）回答一覧（会員館）」
※2019.1-2020.3の会員館の活動
- ・2020年12月照会結果「国立大学図書館協会ビジョン2020評価・総括および会員館の取り組み事例」
※2016.6以降の委員会活動の評価・総括，会員館の取り組み（58件），
関東甲信越地区の事例（R1-2），近畿地区の事例（H30-R2）

（意見照会など）

- | | |
|---|--------------------|
| ・2020年4月照会結果「国立大学図書館協会ビジョンに対する意見等について（照会）回答一覧（会員館）」 | 次期ビジョン（たたき台）への意見照会 |
| ・2020年11月照会 | 次期ビジョン（第一次案）への意見照会 |
| ・2021年3月24日総務委員会 | ビジョン2025（案）の審議 |
| ・2021年4月各地区協会総会 | ビジョン2025（案）の審議 |
| ・2021年5月14日春季理事会 | ビジョン2025（案）の審議 |

○次期ビジョン（ビジョン2025）が示す活動の方向を会員館が中期計画等に取り入れ やすくなるよう具体的な行動計画を策定する

2. 次期ビジョン（案）関係資料

- ・次期ビジョン（案） 本文
- ・次期ビジョン解説（案） 策定の経緯，概要，変化を促す要因，用語集
- ・次期ビジョン概要図（案） 次期ビジョン全体を1枚にまとめたもの
- ・次期ビジョンスケジュール 次期ビジョン策定に係る主な経過
- ・国立大学図書館協会ウェブサイト

国立大学図書館協会ビジョン

<https://www.janul.jp/ja/organization/vision2020>

ビジョン推進にかかる予算措置（事業・戦略的海外派遣）（会員用ページ）

https://www.janul.jp/ja/members/vision_promotion

国立大学図書館協会ビジョン 2020 関連（会員用ページ）

<https://www.janul.jp/ja/members/vision2020-followup>

3. 3月以降に改訂した点

- ・総務委員会（3/24），各地区協会総会（4月中下旬）等の御意見に基づいて改訂

（総務委員会）（言葉の修飾関係の整理）

（基本理念）「デジタル化されたデータを含む知識及び情報への障壁なきアクセス」

→ 「デジタル・非デジタルを問わず，知識，情報，データへの障壁なきアクセス」

（中国四国地区）（用語の統一） 「戦略的な目標」「目標」の混在 → 「目標」（3箇所）

（11月照会時指摘事項の改訂漏れ）（より一般的な言葉への変更）

「電子ブック」→「電子書籍」（3箇所）

（東京地区）（指示代名詞の明確化 → 目標と計画の整理，行動計画の書きかたの整理）

（行動計画 2-2-1）後半

「交流する機会を設けることで社会・地域と連携し，その活性化に貢献する」

→ 「交流する，社会・地域に開かれた知の創出の場を整備し提供する」

（目標 2-2）後半に「ことで，社会・地域の活性化に貢献する」を追加

（九州地区）（「ファシリテーション」を説明する語句の修正）

（目標 3-1）「一体となり，蔵書や情報の評価や選別にかかる」

→ 「一体となり，学術情報を整理し，新たな価値の創造を行う」